



Rainbow letter

2017.9
No.12

日本周産期メンタルヘルス学会・ニュースレター

<<次回学術集会開催予定>>

第14回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会

「こころも、視る。」

日時 2017年10月28日(土)・29日(日)

場所 大分県医師会館

(〒870-8563 大分市大字駄原2892の1)

会長 佐藤 昌司

(大分県立病院総合周産期母子医療センター所長・産科部長)

魅惑の大分⑤

「美味・美食」

大分の取り柄、その1'は何と言っても海・山の幸です。鳥のからあげ、ではなく'とり天'をぜひ。都会で食べるより断然安いし、新鮮なお刺身もぜひ。

とり天



あじさば



- ◆いよいよ開催が来月に迫りました!
- ◆プログラムは学会サイトをご覧ください
- ◆事前参加申込みは引き続き受付中です



第14回学術集会Webサイト
<http://jspmh14.umin.jp/>



<第113回日本精神神経学会総会シンポジウム報告>

妊産褥婦のこころを支えたい ～今、精神医療に求められる多職種連携による周産期リエゾン活動～

リエゾン (liaison) は仏語で「つなぐ、架け橋」を意味する言葉です。精神科リエゾン活動とは身体科で起こるメンタルの問題に対して、身体科のスタッフと精神科医、リエゾン看護師、心理士などメンタルヘルスの専門家が「つながって」行う診療活動をさします。

近年、周産期医療や母子保健の現場では、メンタルヘルスに関するスクリーニングや、その後のインテーク面接を経て、精神医療やソーシャルサポートにつながる動きが活発化していますが、周産期リエゾンに携わる精神科医の数はいまだ十分とはいえ、各地域で少ないリソースを駆使しているのが現状です。そこで、精神医療に携わる方々に周産期における精神科リエゾン活動への関心を持っていただこうと、第113回日本精神神経学会学術総会にて、シンポジウム「妊産褥婦のこころを支えたい ～今、精神医療に求められる多職種連携による周産期リエゾン活動～」を行いました。当日は、5人の精神科医が、産科病棟、助産師外来、周産期メンタルケア専門外来、総合病院、母子保健という様々なフィールドでの周産期リエゾン活動の実践を報告し、精神科診療所、精神科病院、分娩施設、総合病院、地域保健がどのように連携して妊産褥婦のこころを支えるかを討論しました。会場の参加者から「院内や地域の産科から連携の要請がきている」という発言がでるなど、周産期医療側からのニーズに後押しされて、各地域で周産期リエゾン活動が始まる息吹を感じたシンポジウムとなりました。(評議員/清野仁美/兵庫医科大学精神科神経科学講座講師)



シンポジウム後に開催された日本周産期メンタルヘルス学会の精神科医・心療内科医の意見交流会にて
～座長の岡野先生、鈴木先生、シンポジウムを盛り上げてくださった北村先生と共に～

<シリーズ・委員会活動紹介> 第4回 研修・教育委員会

本委員会は、会員の周産期メンタルヘルスに関連する最新知識の共有とメンタルヘルスに関する技術の向上ができるように研修会の企画を検討しております。

構成員は、鈴木(精神科医)、蒲池(助産・看護)、北村(精神科医)、工藤(助産・看護)、玉木(精神看護)、常盤(助産・看護)、森實(助産・看護)、そして 新井(助産・看護)の9名です。それぞれの領域から参加していますが、助産・看護系の委員が多くなっております。その理由の一つに、会員の中で助産・看護が占める割合が多く、日ごろから周産期メンタルヘルスケアを実践している方に向けた研修が必要であると考えているからです。

2017年は周産期メンタルヘルス学会から「周産期メンタルヘルスコンセンサスガイド2017(初版)」が発刊され、日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会等からも周産期メンタルヘルスに関わるガイドラインやマニュアルが発信されております。今後は、これらについて学習する機会を設けていきたいと考えております。また、Webサイトなどで研修会について発信していきたいと考えておりますので、是非チェックをしていただければと思います。

また、会員の皆様からこのような研修を企画してほしいなどご要望がございましたらお寄せください。検討したいと思います。(ご要望は学会事務局まで)

(研修・教育委員会委員長・理事/新井陽子/北里大学看護学部生涯発達看護学准教授)

((投稿記事募集!))

会員の皆様にとって有用な情報をニュースレターで取り上げていきます。詳しくは学会Webサイト(→QRコード、<http://pmh.jp/index.html>) または、学会事務局 (mental-3@hac.mie-u.ac.jp) まで。

*企画・発行: 日本周産期メンタルヘルス学会 事務局・情報関連委員会

